

第112番組審議委員会議事録

日時：令和6年9月18日（水）13時30分～

場所：市民活動センター/コミュニティ f（富士市吉原2丁目10番20号）

1. 委員総数8名

2. 出席人数7名

3. 出席委員の氏名

吉野渉 委員長・赤池英明 副委員長・稲葉美津江 委員・青木洋一 委員・石田寛之 委員・内藤佑樹 委員・渡邊朱美 委員

4. 放送事業者出席者名

小沢教司 代表取締役社長

山本茂 放送局長

山本局長：本日はお集りいただき、ありがとうございます。今日は112回目の番組審議となります。皆様よろしくお願ひ致します。それでは番組審議委員長の吉野委員長一言よろしくお願ひ致します。

吉野委員長：本日もお暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。今日も皆さんと審議していきたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。

山本局長：ありがとうございます。続いて弊社小沢からお願ひ致します。

小沢社長：本日もお暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。本日は多くの委員の方にお集まりいただきました。コロナも終息してきたと思ひましたがまた増えてきている様で、皆様お気を付けください。今日もご意見の程よろしくお願ひ致します。

山本局長：それではまずは、前回審議をお願ひした「BeSmile」のご報告です。4月より「ほりえかおり」がナビゲートを務めております。明るい声で、皆様からも高評価をいただきました。また、ご検聴いただいた番組冒頭と図書館からの本の紹介、皆様より細かいご指摘をいただきました。その内容については弊社ホームページに掲載し、制作担当者と話し合いながらより良い番組作りをしていければと考えております。

今回ご審議いただくのは7月から始まった富士市の議員さんの番組です。「福永むねと」さんという富士市議会議員で「福永むねとの『むねのうち』」という番組です。富士宮市と富士市の市議・県議会議員さんの番組は4つございますが、その内の一つです。まだ若い議員さんで、今回初当選された方です。それでは早速お聴きください。

番組審議

- ・ 審議番組 富士市議会議員 福永むねとの「むねのうち」！
毎月第2・4月曜日 11：00～11：15
（13分程）
- ・ 放送日時 令和6年9月9日 水曜日 11：00～

- ・ 出演 富士市議会議員 福永むねと
- ・ 番組編成制作方針、説明
- ・ 質疑応答

検聴 12分程

山本局長：以上でございます。それでは吉野委員長ご審議よろしくお願い致します。

吉野委員長：はい、それでは始めさせていただきます。まずは私から、これまで審議をしているのは簡単なエンタメが入っている感じでしたが、今回はニュースで取り上げられている問題だなと思いました。聴いていて眠くなるのかな？という感じでした。ただ、ところどころで部活動や学校の裏側の話が聴けるというのは面白いなと思いました。部活動の先生が、部活動を負担に思ってしまうという発言がありました。もしこの番組を学生が聴いたらちょっと幻滅してしまうのかな？と感じてしまいました。しかし、その反面学生がこのラジオを聴くと、先生を敬うのかなとも感じています。部活動の話をするのであれば、市内の小中学校に聴いてくださいなど告知ができるのかな？と思いました。市政報告という事もあります、様々な人と協力をしてラジオ放送をしていただけならと思います。それでは続いて、内藤さんいかがでしょうか？

内藤委員：吉野さんと同じですが、福永さんの番組なので活動報告なのでいいのかな？と思いました。何か面白い要素を入れた方がいいのかな？と演説の様な内容じゃなくても良いのかな。とも思いましたが福永さんの番組なのでどのようにするかは福永さんが決められる事なのかなと。福永さんの体験談を話していた所がありましたが、そういった所に興味を持ちました。表層的な話だけでなく、こういった体験談をもっといれても良いのかなと思いました。また違う要素、聴きやすさをいれてもよいのかなと思いました。

吉野委員長：ありがとうございます。確かに体験談が聴けるというのは良いのかなと思いますね。稲葉さんどうですか？

稲葉委員：教員をなさっていただけあって、話がまとまっていた。話し方が上手。話している内容もわかる。上手いだけにその分、吉野さんや内藤さんの意見もわかります。ただご自身の経験を踏まえながら話されているので共感や説得力もあると思いました。私が子供の頃、部活動で「あの先生なんか違うよね？」という事を思ったり友達同士で話していましたが、この番組を聴いて「そういう事だったのか。」と改めて再認識が出来ました。今回の内容「部活動に関して」地域が部活動にどう関わるのか、これは少子化の影響だけではなく、先生達の働く環境、場所の環境、競技によって出来る部活に限られるなどのメンバーの環境等いりまじっているんだと感じました。現在、大人が社会生活で対応しきれない事や悩まむ事が多い中、子供たちはもっと大きな変化がここ数年で起きるのだと、番組を聴いて考えさせられました。

吉野委員長：ありがとうございます。難しいですね。地域と部活動をからめるのは。時代によってすり合わせるの大切だと思いました。そういった意味で市政報告は難しい内容ですね。赤池さんはいかがですか？

赤池副委員長：稲葉さんが仰られていたように、話は聴きやすいと思いました。一つ質問ですが、福永むねとさんは何歳くらいのどんな経験をなさっていて何をされている方でしょうか？というのは、誰が何を話しているの

か、というのは重要な所だと思うんですね。

小沢社長：現在34歳ですね。

渡邊委員：若いんですね。

山本局長：現在34歳で、教員をされたご経験があります。教員を9年ほどやって、市役所の消費者教育委員として1年ほど勤務されていますね。

赤池副委員長：その後現在の職につかれていますね。それを踏まえて、自分の子供が高校時代の事を思い出しまして、部活動の地域移行について、前から言われていた話だったんですよね。人材の確保が難しい。それは「競技が上手い事」と「教える事が上手い事」は違うと思うんですね。そんな事を思いながら聞かせていただきました。部活動の地域移行を考えた時、地域ってどんな範囲なんだろう？富士宮市は北と南は離れている。南側は富士市に近い。地域の範囲について、聴いていて色々考える事が増えてきた。そういった意味で聞き入ってしまいました。この後の進捗も聴きたいと思いました。

吉野委員長：そうですね。今後の進捗は気になりますね。これを聴いて調べる人が多くなるというのはいい事だと思います。

赤池副委員長：先生のなり手不足といってしまうと簡単になってしまいますが、そう言った意味で今後の話が気になりました。

吉野委員長：ありがとうございました。石田さんはいかがですか？

石田委員：皆さんが仰る通り聴きやすいなど。プロのMCなのかな？と考えてしまうほどでした。それと同時に、議員さんの番組を審議するという事が疑問に思いました。ここで話している事を福永さんに何をどう伝えるのか内藤さんの仰る事と同じ意見です。

吉野委員長：ありがとうございます。渡邊さんはいかがですか？

渡邊委員：聴きやすく、話も上手ですが市議会議員だなと思いました。ただもう少し面白く、番組審議委員としていうのであれば、教員なのでもっとそういう体験談を話した方がよいのかなと思いました。部活動の事については、本当に先生たちが不足なんだなど、プロじゃない人もいる。外部指導者を入れて対応している所もある。それを完全に地域に移行出来るのか？どういうやり方があるのか？そこは疑問に思いました。これからどうやっていくのか、見ていきたいと思いました。富士宮市はプールの問題が出てきています。ヒビが入っている。循環系の故障などがあり経費や先生たちが対応する時間がさかれてしまう。富士宮は小学校1校、地元のスポーツクラブに通う事になっています。他の学校も検討中との事です。中学も今後どうなるか。私立についてはプールを所有していない。小学・中学で泳げない人が増えていくのかと感じました。余談ですみません。

吉野委員長：ありがとうございます。続いて青木さんはいかがですか？

青木委員：話し方が上手で、気持ちよく聴けて、市政の内容を話す事について良いとは思いますが。ただ、議員のPRとして問題ないのか？事前のチェックは入っているのか？番組名が「むねのうち」で、話の内容は数字や数値を根拠に話している部分もある。そう考えると福永さんとしての「むねのうち」が入っているのか？と思いました。議会広報として行政が行えばよいのでは？と思いました。

これは、議員さん全員がやりたいと思えば全員番組をやらせるのですか？

山本局長：現在そういった話はありませんが、人数が増えたら考えなければいけない。どこかで線引きや調整が必要になってくると思います。

青木委員：市議会として市政報告をしてもらうのはどうなんでしょうか？議員として議会にいて感じる事などを、輪番制にして回していく方が良いと思いました。福永さん自身も、もっとズケズケと話してよいのかなと思います。

小沢社長：まず、チェック体制についてですが、何かに対して批判しすぎる事などが無いよう留意しながら、制作担当ともども最新の注意を払い番組制作をしております。事前チェックも行っております。他の局でも国会議員など議員さんが話す番組があるようです。

内藤委員：聴いていて、「こういう議論があるから、それで良しとしてしまうのか。もうちょっと硬すぎるから聴ける要素を作りましょう。」と持っていくのか。

小沢社長：この番組は始めたばかりなので、ディレクターとも話をして指導しながらやっていくように伝えますね。

稲葉委員：ただ、これまでさほど考えていなかった事をこの番組を聴くと自分ごとにしてくれる。そういう意味では良い。政権の話をするのはどうかと思いますが、みんなと共有できる共感できる場ができるので良いと思いました。

渡邊委員：もっと「むねのうち」をききたいですね。

山本局長：よろしいでしょうか？本日はありがとうございました。

小沢社長：次回は11月20日水曜日開催です。よろしくお願い致します。